

## 健康警告表示の強化に必要なエビデンスの構築

分担研究者 樺田尚樹 国立保健医療科学院生活環境研究部・部長  
平野公康 国立研究開発法人国立がん研究センター・研究員  
田淵貴大 大阪府立成人病センターがん予防情報センター・課長補佐

### 研究要旨

本研究の目的は、国民の健康を守る観点から、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（WHO Framework Convention on Tobacco Control; WHO FCTC）の履行状況を検証し、政策提言を行うことであり、本年度は、FCTC 第 11 条 健康警告表示について主として検討した。第 11 条では喫煙率の減少に向けたたばこ製品の健康警告表示について定められ、その実行のためのガイドラインが示されている。現在国内の製品で実施されている、曖昧で文字のみの警告が与える影響力は小さい。2016 年 6 月の財政制度等審議会 たばこ事業等分科会表示等部会において、警告表示の改定案が示された。本研究では、改定案により、1) 喫煙者が警告表示を今よりもよく読むようになると思うか、2) 未成年者に対する注意文言の追加が、未成年者の喫煙防止に効果があると思うか、3) さらに、〈見直しイメージ〉について、どのように評価するか、について、WEB アンケート調査により検討した。その結果、喫煙者、非喫煙者においてそれぞれ、1) 警告表示を読む割合が「どちらかという今と変わらない」「今と変わらない」と回答した者の合計割合は、72.2%、63.5%、2) 未成年者の喫煙防止に「どちらかという効果がないと思う」「効果がないと思う」と回答した者の合計割合は、71.4%、63.1%、3) 改定案について、「どちらかという警告が弱く、あまり評価しない」「警告が弱すぎて評価しない」が、16.7%、24.3%であった。

本調査は断面調査であり、現解析では種々の要因の調整も実施されていないが、警告表示の改定案はインパクトが小さいと認識されていることが示唆された。特に喫煙者において、その傾向は強い可能性が示唆された。

今後国内において、世界標準となっている画像警告表示の導入を含めた総合的な健康警告表示対策をより一層強力に推進していく必要がある。

### A. 研究目的

2005 年、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）が発効し、締約国は、たばこ消費の削減に向けた広告・販売への規制や密輸対策をはじめ、たばこによる健康被害防止のためのヘルスコミュニケーションの実施が要求されている。

「第 11 条：たばこ製品の包装及びラベル」では、締約国に対して、喫煙を主な要因とする疾病の警告表示の義務付けや、各国でのたばこ政策の実施へ向けた国内法制定のための実践的な支援対策がガイドラインとして提示されている。こうした FCTC の発効により、各国でのたばこ対策は飛躍的に進められている<sup>1</sup>。カナダは世界

で初めて 2001 年より画像警告表示を導入し、2017 年には 105 ヶ国まで増加している。その他、禁煙者の増加を目的に実施された、包装上に禁煙電話相談サービス（クイットライン）の連絡先を表示する対策や、オーストラリアでは 2012 年よりたばこ製品特有の色使い・画像・マークなどの使用が禁じられた「プレーンパッケージ」が導入されている。

一方、日本国内では、財務省所管の「たばこ事業法」施行規則第 36 条の規定により「注意文言」が包装主要面の 30%の面積で記されているだけであり、FCTC で求められる最低限の条件を満たすのみである。この様に、他国と比べても日本国内のたばこ対策は大きな遅れを取っている状況にある。

このような中、2016 年 2 月に「たばこ事業法」を所管する財務省により、たばこパッケージ表示の見直しと、警告文の表示をより効果的なものへ強化していく方針が発表された。2016 年 6 月の財政制度等審議会 たばこ事業等分科会表示等部会において、同年 4 月に実施した「注意文言の認知状況等に関するアンケート調査」結

<sup>1</sup> Canadian Cancer Society, Cigarette Package Health Warnings International Status Report, 4<sup>th</sup> Edition  
<http://www.tobaccolabels.ca/wp/wp-content/uploads/2016/11/Cigarette-Package-Health-Warnings-International-Status-Report-English-CCS-Oct-2016.pdf>

果を交えて、「注意文言の在り方について」が提示された<sup>2</sup>。その中では、現行の注意文言と比較して、「注意文言の内容を簡潔なものとし、文字数を削減して読みやすい表現とする。」「未成年者の喫煙防止に関する注意文言をすべての商品のパッケージに表示する。」ことなどが提案されているが、画像警告表示については、「過度に不快感を与えないようにすることが必要と考えられる。」として今後の検討課題とされた。

本研究では、上記分科会報告を受けて、財務省提案に対する国民の認識について WEB アンケート調査により実施検討を行った。

## B. 研究方法

日本の一般住民を対象として楽天リサーチ株式会社によりインターネット調査を実施した。調査実施期間は2017年1月27日～3月13日であった。対象者の選定、実施の詳細については、分担研究者・田淵貴大による別項「受動喫煙の他者危害性の認識と支持する受動喫煙防止対策の関連」分担報告書を参照いただきたい。

質問項目は、2016年6月にたばこ事業等分科会表示等部会が提示した見直し案イメージにより、1) 喫煙者が警告表示を今よりもよく読むようになると思うか、2) 未成年者に対する注意文言の追加が、未成年者の喫煙防止に効果があると思うか、3) さらに、〈見直しイメージ〉について、どのように評価するか、について質問した（具体的な質問は後述別紙参照）。

有効回答、9,939例についてクロス集計結果を提示する。

（倫理面への配慮）

本研究に関して大阪府立成人病センター（現在の大阪国際がんセンター）および国立保健医療科学院の倫理審査委員会からの承認を得て実施した。

## C. 研究結果と考察

### C.1. 警告表示改訂案による喫煙者の認知の変化

財政制度等審議会 たばこ事業等分科会表示等部会の提示改訂案では、簡潔な表現とすることにより文字数を削減するが、引き続き文字情

<sup>2</sup>財務省財政制度等審議会たばこ事業等分科会（第35回、平成28年6月7日）  
[http://www.mof.go.jp/about\\_mof/councils/fiscal\\_system\\_council/sub-of\\_tabacco/proceedings/material/tabakok20160607.html](http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_tabacco/proceedings/material/tabakok20160607.html)

報だけのままとし、表示面積も前面30%、後面は30%に次項の未成年者への喫煙防止警告を20%の面積で含むイメージが提示されている。

これらの改訂イメージに対して、喫煙者、非喫煙者、過去喫煙者、合計のそれぞれにおいて、

1) 警告表示を読む割合が「どちらかという今と変わらない」「今と変わらない」と回答した者の合計割合は、72.2%、63.5%、63.7%、65.1%であった。約3分の2の人が改定案の効果を期待できないとし、さらに現喫煙者が警告表示を目にする機会の増加に対して改定案の効果が期待されないと回答している割合が高いことが示された。

### C.2. 未成年者に対する注意文言の追加が、未成年者の喫煙防止に効果があるか

現行は8種類の注意文言の一つとしてローテーションで表示されている、未成年者に対する注意文言は、改定案では全ての商品のパッケージに「未成年者の喫煙は、法律で禁じられています。絶対にダメです。」のような例示で示すことが提案された。

これに対して、未成年者の喫煙防止に「どちらかという効果が無いと思う」「効果が無いと思う」と回答した者の合計割合は、喫煙者、非喫煙者、過去喫煙者、合計のそれぞれにおいて、71.4%、63.1%、65.7%、65.2%であった。前項同様に約3分の2の人が改定案の効果を期待できないとし、さらに現喫煙者においてその割合がさらに高いことが示された。

### C.3. 〈見直しイメージ〉について、どのように評価するか

改定案においては、最も効果が期待され諸外国では標準としてすでに105カ国でも導入されている画像付き警告表示の導入は、「提供する情報が消費者に正確に受け止められるようにするとともに、過度に不快感を与えないようにすることが必要と考えられる。」として今後の検討課題とされた。

これら全体を通しての改定案について、「どちらかという警告が弱く、あまり評価しない」「警告が弱すぎて評価しない」と回答した者の合計割合は、喫煙者、非喫煙者、過去喫煙者、合計のそれぞれにおいて、16.7%、24.3%、24.7%、23.1%であった。

本調査は断面調査であり、現解析では種々の要因の調整も実施されていないが、警告表示の

改定案はインパクトが小さいと認識されていると思われる。

財務省が、2016年4月に「注意文言の認知状況等に関するアンケート調査」を実施したほぼ同時期に、国立がん研究センターにおいて「たばこパッケージの警告表示について」意識調査を実施し結果を公表している<sup>3</sup>。

その結果概要では、

- 喫煙者が表示を認識し、表示内容を読む効果が大きいのは、**画像付きの警告表示**。例えば「肺がん」では、喫煙者の**58%**が画像つきを1位に選択した。
- 画像を不快・不適切と感じるかどうかは、意見が分かれる。
- 警告表示の**面積割合を大きくすること**については、喫煙者の**47%**、成人全体の**72%が賛成**。
- 大きな字でシンプルな文言にすることは、喫煙者の**56%**、成人全体の**75%が賛成**。
- 警告表示に画像を入れることは、喫煙者の半数近く、成人全体の**70%が賛成**。**反対は喫煙者でも20%と少ない**。
- **個別の画像には不快・不適切と思うもの**があっても、警告表示に画像を入れることには**賛成**。

と報告されており、たばこ事業等分科会表示等部会の提示案とは相当に乖離するところである。今回の調査においても、喫煙者、非喫煙者を問わず、健康警告表示として、より明確な情報提示の必要性が望まれていることが示唆された。

#### D. 結論：警告表示のインパクト

The International Tobacco Control Policy Evaluation Project (ITC プロジェクト)に基づき国際比較可能な質問紙を用いて日本の喫煙者のたばこ警告表示に関する認知に関して検討したところ、たばこ警告表示に気づいた人、たばこ警告表示をきっかけに健康への害を大いに考えた人、たばこ警告表示によって自分が禁煙する可能性が大いに高まると回答した人が、いず

れも警告表示が進んでいる国に比較し、圧倒的に少なかった。文字だけで、長文の警告表示は、喫煙者に対しても読まれる機会は低く、たばこ規制の取組みから受けているインパクトが諸外国に比べ非常に小さいことが示されている<sup>4</sup>。

WHOによるFCTCの発効により、世界各国では喫煙に対するさまざまなたばこ対策が進められ、中でも、画像による健康警告表示やプレーンパッケージの導入の先駆けとなったカナダやオーストラリアでは、規制の強化により喫煙率の低下にも大きく貢献してきている。このような好事例の影響により、ヨーロッパや東南アジア諸国においても、これに続く対策が急速に進められている。今後、国内でのFCTC第11条普及のため、たばこ警告表示を短く明確な文言を用い、より大きな文字・面積で示すとともに、少なくとも写真・画像警告表示の導入を早期に実現し、主に未成年者を対象とした喫煙に関する教育・啓発に力を注ぐとともに、喫煙者のためのクイットラインの表示を含め、総合的なたばこ対策をより一層強力に推進していく必要がある。

<sup>3</sup> 国立がん研究センター. たばこパッケージの警告表示について意識調査実施. 画像付きの警告表示に過半数が賛成. (2016年5月30日)  
[http://www.ncc.go.jp/jp/information/pr\\_release/press\\_release\\_20160530.html](http://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/press_release_20160530.html)

<sup>4</sup> 仲下祐美子, 大島明, 増居志津子, 中村正和. たばこ規制に対するたばこ使用者を対象にした調査結果の国際比較, **厚生**の指標, 2016.63(6):24-32.

## E. 健康危険情報

なし

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- (1) 榎田尚樹, 平野 公康. 第2章・第5節 無煙たばこ・電子たばこ等の健康影響. 喫煙の健康影響に関する検討会編「喫煙と健康 -喫煙の健康影響に関する検討会報告書-」; 2016:p314-328.
- (2) 榎田尚樹. 第3章・第5節 たばこ製品の警告表示. 喫煙の健康影響に関する検討会編「喫煙と健康 -喫煙の健康影響に関する検討会報告書-」; 2016:p523-535.

### 2. 学会発表

- (1) Kunugita N, Uchiyama S, Inaba Y, Bekki K. Validation studies - Part 2 VOCs and Aldehydes (SOP\_08 & 09). Sixth Meeting of the WHO Tobacco Laboratory Network. 2016. 5.
- (2) Kunugita N, Uchiyama S, N Inaba Y, Bekki K. The need to develop and validate methods for monitoring aldehydes, particularly formaldehyde and acrolein in e-cigarette aerosols. Sixth Meeting of the WHO Tobacco Laboratory Network. 2016. 5.

- (3) 榎田尚樹. 「低有害性タバコ」開発が狙うもの. シンポジウム III「タバコ会社の戦略」徹底研究 ～喫煙の有害性が過小評価される原因～ 第10回日本禁煙学会学術総会; 2016. 10. 29-30, 東京. p46.
- (4) 榎田尚樹, 戸次加奈江, 稲葉洋平, 内山茂久. たばこ製品の健康警告表示シンポジウム「たばこ規制の推進に役立つエビデンスの構築と政策実現にむけたアドボカシー」第75回日本公衆衛生学会総会; 2016. 10. 26-28; 大阪.
- (5) 林田英樹, 内山茂久, 妹尾結衣, 戸次加奈江, 稲葉洋平, 小倉裕直, 榎田尚樹. 固体捕集 / One-pot 溶出法による iQOS から発生する化学物質の分析. 第75回日本公衆衛生学会総会; 2016. 10. 26-28; 大阪. 同抄録集. p. 660.
- (6) 榎田尚樹. 電子タバコ等、新しいタバコについて ～化学分析から見るタバコの有害化学成分～. 第48回アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議 (APACPH2016) 帝京大学 50 周年記念国際学術会議, 日本学術会議主催 市民公開シンポジウム 脱タバコ社会実現をめざしタバコ対策の再構築; 2016. 9. 19; 東京

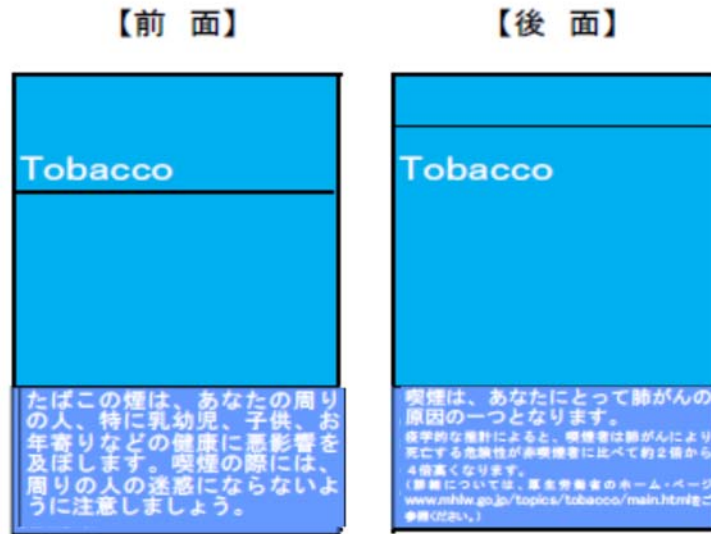
## G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

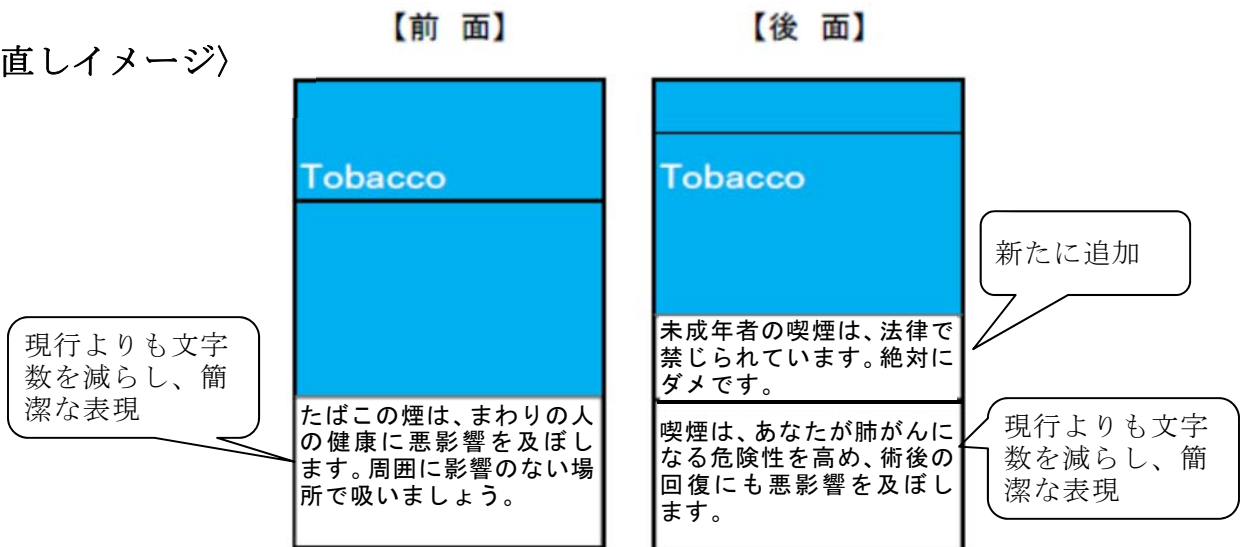
<アンケート質問項目>

(Q45) 現行のタバコパッケージの警告表示の変更が検討されています。変更案として、下記の現行表示例のような文字数の多い注意文言を見直し、簡潔な表現で読みやすい文字の大きさにする。さらに、全てのパッケージに未成年者の喫煙防止に関する注意文言を追加することが検討されています。この変更案についてお伺いします。

<現行表示例>



<見直しイメージ>



Q45-1 このように変更されると、喫煙者が警告表示を今よりもよく読むようになると思いますか。

- 1 よく読むようになると思う
- 2 どちらかという、よく読むようになると思う
- 3 どちらかという、今と変わらないと思う
- 4 今と変わらないと思う

Q45-2 <見直しイメージ>では、全てのパッケージの裏面に、「未成年者の喫煙は法律で禁じられています。絶対ダメです。」という注意文言を追加される予定です。この注意文言の追加が、未成年者の喫煙防止に効果があると思いますか。

- 1 効果があると思う
- 2 どちらかという、効果があると思う
- 3 どちらかという、効果がないと思う
- 4 効果がないと思う

Q45-3 今回の変更案<見直しイメージ>について、あなたはどのように評価しますか。（注）ここでの「警告が強い」とは、警告表示の面積が大きい、表示が目立つなどのことを指しています。

- 1 警告が強すぎて評価しない
- 2 どちらかという、警告が強く、あまり評価しない
- 3 どちらかという、警告が強いが、見直しは評価する
- 4 適切な見直しと評価する
- 5 どちらかという、警告が弱いが、見直しは評価する
- 6 どちらかという、警告が弱く、あまり評価しない
- 7 警告表示が弱すぎて評価しない

Table 1 アンケート・クロス集計結果

	合計 (人数)	非喫煙者 (人数)	過去喫煙者 (人数)	現在喫煙者 (人数)
Q45-1: このように(財務省案)変更されると、喫煙者が警告表示を今よりもよく読むようになると思いますか				
良く読むようになると思う	690	449	165	76
どちらかというと、よく読むようになると思う	2776	1731	631	414
どちらかというと、今と変わらないと思う	3575	2113	786	676
今と変わらないと思う	2898	1687	612	599
	9939	5980	2194	1765
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Q45-2: この(財務省案)注意文言の追加が、未成年者の喫煙防止に効果があると思いますか				
効果があると思う	694	482	142	70
どちらかというと効果があると思う	2769	1725	610	434
どちらかというと効果がないと思う	3780	2243	848	689
効果がないと思う	2696	1530	594	572
	9939	5980	2194	1765
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Q45-3: 今回の変更案(財務省案)について、あなたほどのように評価しますか				
警告が強すぎて評価しない	260	106	32	122
どちらかという警告が強く、あまり評価しない	643	310	113	220
どちらかという警告が強いが、見直しは評価する	1818	1041	386	391
適切な見直しと評価する	2737	1717	568	452
どちらかという警告が弱いが、見直しは評価する	2189	1351	552	286
どちらかという警告が弱く、あまり評価しない	951	572	240	139
警告表示が弱すぎて評価しない	1341	883	303	155
	9939	5980	2194	1765
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%